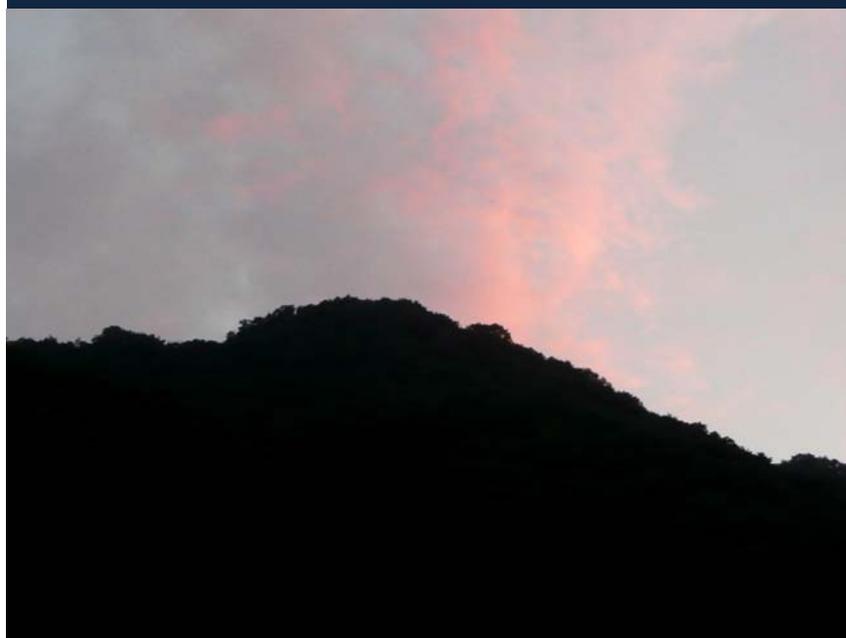


平成 22 年度

秋山教授と行く 広島歴史探訪バスツアー

安芸の戦国再発見

—三篠川流域の武士たちと毛利氏—



中郡衆・三田氏ゆかりの史跡

戦国を生き抜いた巖島社領以来の伝統を持つ在地武士

●三田地区の景観（北東から）



左から萩原城跡、七郎城跡、木ノ宗山城跡、伝三田五郎左衛門館跡（三田新城跡）。

●三田地区周辺の戦国時代ゆかりの史跡



- ①七郎城跡 ②萩原城跡 ③柳原八幡宮 ④正覚寺跡 ⑤高覚庵跡
- ⑥伝三田五郎左衛門館跡（三田新城跡） ⑦福永八幡神社 ⑧五菴城跡
- ⑨畑杭山八幡宮 ⑩旭日山城跡 ⑪藤加勢城跡 ⑫平野山新宮大明神



三田地区の景観（南から）。

毛利家文書十五 毛利元春自筆書案より
 一公家一統建武元年、吉田庄地頭職、花山院家
 祇候人美乃判官全元申給朝恩之間、今意足、元
 春母方祖父三田入道ヲ馮テ在国、然向、武田信武
 建武二年棒御播之利、令同心、追落全元代官、吉
 田庄地頭職建武三三一月二元春知行之処：
 （建武年間、失った吉田庄地頭職の回復を目指
 す毛利元春が、母方の祖父三田入道を頼り安芸
 に在国したことを、元春自ら述べた部分）



左から伝三田五郎左衛門館跡と七郎城跡（西から）

●柳原八幡宮 三田氏が代々崇拝した神社。



柳原八幡宮の大柳についての伝承を記す江戸時代の資料
 「国郡志御用二付下調書出帳」19世紀第1四半期
 一、大柳之跡 柳原八幡宮境内之北に有り
 毛利輝元卿之時代京都大仏殿建立之節三十三間堂棟木用二
 伐登せられよし伐採星霜を経て朽消さる跡壺畝面積くぼく成り有之
 年曆申伝不相分永禄天正之頃にも候歟大仏殿建しは天正十四と
 も申候…此柳の大木あるより柳原八幡宮と申又郷名を柳原と申候
 よし申伝候…此木備前の沖白石島辺にて岩に当り根元さけ棟木に
 は不相成京着は相違なきよし申伝に御座候
 （豊臣秀吉が造営した方広寺大仏殿の用材を得るため、毛利輝元
 がこの地域一帯で伐採を行った事実に関する伝承）

●七郎城跡 伝三田氏居城



七郎城跡略測図（「広島県中世城館遺跡
 総合調査報告書」第1集 広島県教育委員会より）



七郎城跡（西から）



七郎城跡の頂部の平坦面。

中郡衆・秋山氏ゆかりの史跡



右から藤加勢城跡、旭日山城跡と秋山地区の景観（北東から）。



畑杭山八幡宮



秋山地区に残る石造物。

●三田・秋山地区年表

西暦	和暦	事項
1298	永仁 6	巖島社領三田新庄の上村と下村の境界を定める。
1473	文明 5	源之朝臣親次、土蔵普請に充てるため畑杭山八幡宮と岡山新宮の宮山を売却。
1475	文明 7	源朝臣小笠原親次、畑杭山八幡宮を再建。
1507	永正 4	毛利興元、三田小次郎に高田郡長屋村以下を与え、これに応じて小次郎の父三田元親が興元に忠誠を誓う。
1511	永正 8	秋山親吉、毛利氏に忠節を誓い、京関東御役の際役銭を納めることを約束。
1532	天文 元	三田元実と秋山親吉、毛利氏に利害関係の調停を要請した家臣団の連署起請文に加わる。
1539	天文 8	柳原八幡宮棟札に「藤原朝臣能登守元吉」が見える。
1543	天文 12	秋山元継、毛利元就・隆元に出雲国富田月山攻城戦での活躍を賞される。
1550	天文 19	三田元親と秋山元継、元就の上意に従うことなどを誓約した家臣団の連署起請文に加わる。
1554	天文 23	三田元親、柳原八幡宮拝殿を建立。
1555	弘治 元	巖島の戦い。
1557	弘治 3	三田周防守と秋山掃部助、軍勢狼藉禁止令に従うことを誓約した毛利家臣団の連署起請文に加わる。
1583	天正 11	「藤元同透吉」、宮原（福永）八幡宮を建立。
1588	天正 16	毛利輝元、方広寺大仏殿建立のため「芸州井原・秋山」の材木伐り出しを命ずる。
1590	天正 18	柳原八幡宮棟札に「藤原朝臣元秀」が見える。

北田城跡

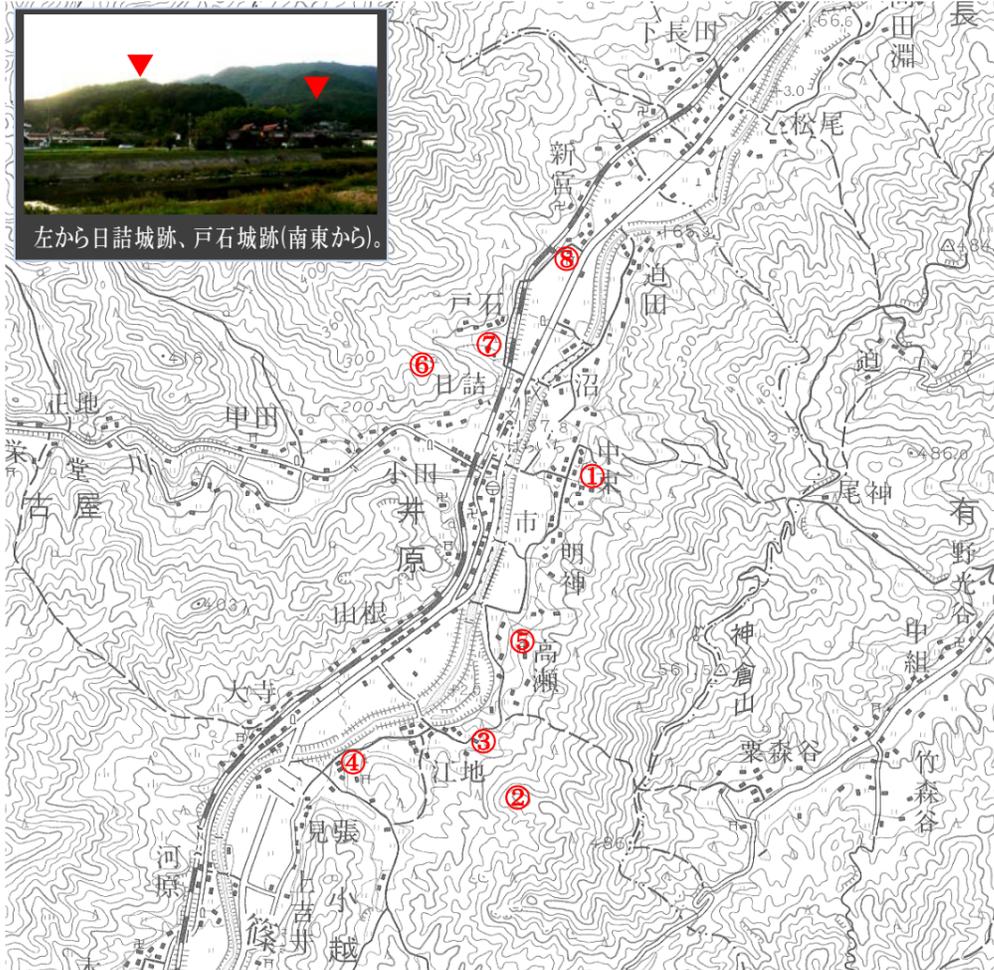
中郡衆・井原氏ゆかりの砦か—交通の要衝に位置する山城跡

●井原地区の景観(北西から)



左から北田城跡、日詰城跡、鍋谷城跡。

●井原地区の戦国時代ゆかりの史跡



- ①北田城跡 ②鍋谷城跡 ③伝井原氏居館跡 ④見張城跡 ⑤高源寺
⑥日詰城跡 ⑦戸石城跡 ⑧新宮神社



鍋谷城跡と井原地区南部から市川地区にかけての景観(北東から)。

閩録卷四十より
 今度於賀嶋ありくと矢を被射、敵味方褒美並比類
 候、愈御嗜肝要候、猶妙壽寺可被申達候、恐々謹言
 六月廿二日
 井原小四郎殿 御宿所
 輝元 御判
 (天正十一年、毛利輝元が伊予国賀島での井原元尚の弓技を賞した書状)

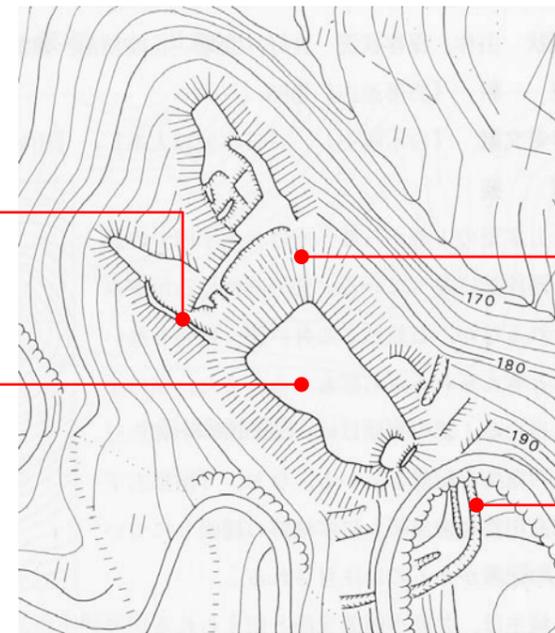
●北田城跡の構造



土塁(敵を防ぐため郭の端などに設けられた土手状の施設)



郭(建物を建てたり兵を配置したりするため削った平坦面)



北田城跡略測図(「広島県中世城館遺跡総合調査報告書」第1集 広島県教育委員会より)



切岸(敵が登れない様急角度に削った斜面)



堀切(敵を防ぐため尾根を横切って掘られた溝)

●鍋谷城跡 伝井原氏居城



鍋谷城跡の頂部の平坦面(西から)。

●伝井原氏居館跡



伝井原氏居館跡の石垣(西から)。

●井原地区年表

西暦	和暦	事項
14世紀前半		井原師久、毛利氏に従い来住か。
1457	康正3	井原安芸入道宗金、孫の太郎坊に井原村松尾の田畠林野などを譲る。
1511	永正8	井原元造、毛利氏に忠節を誓い、京関東御役の際役銭を納めることを約す。
1532	天文元	井原元師(毛利元就の義兄弟)、毛利氏に利害関係の調停を要請した家臣団の連署起請文に加わる。
1540	天文9	郡山城攻防戦で「井原の樋爪」が戦死。
1550	天文19	井原元造、元就の上意に従うことなどを誓約した家臣団の連署起請文に加わる。
1555	弘治元	井原元造、毛利氏の人質番を命じられる。厳島の戦い。
1557	弘治3	井原元造、軍勢狼藉禁止令に従うことを誓約した毛利氏家臣団の連署起請文に加わる。井原元造宛て毛利隆元書状に「井原要害」が見える。
1582	天正10	本能寺の変。
1583	天正11	井原元尚、毛利輝元に讃岐国賀島で示した弓技を賞される。
1588	天正16	毛利輝元、方広寺大仏殿建立のため「芸州井原・秋山」の材木伐り出しを命ずる。
1589	天正17	井原元尚、毛利輝元から「中郡佐東へ之往返本道」と「佐東廣嶋之堀」の普請を命じられる。
1591	天正19	井原元尚、この頃周防国三尾へ移る。
1595	文禄4	宍戸玄翁、妹の毛利輝元夫人の祈念のため、厳島社内侍衆に井原村内の地を寄進。

志道氏墓所（志道氏菩提所龍福寺跡）

毛利元就を支えた執権・志道広良の本拠地

●志道氏墓所周辺の景観（南から）



左から志道氏墓所、志路城跡、宮崎八幡宮。

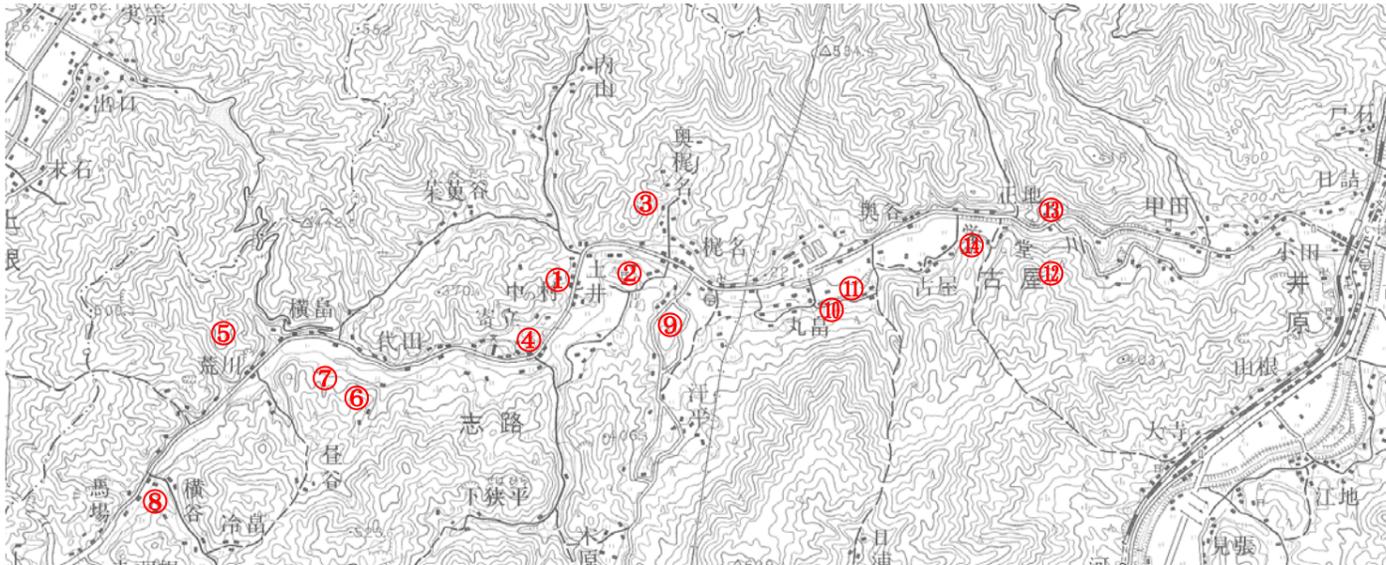


志道氏墓所



宮崎八幡宮（志道氏が崇拝した神社）

●志路・古屋地区の戦国時代ゆかりの史跡



- ①志道氏墓所 ②宮崎八幡宮 ③志路城跡 ④中ノ村城 ⑤志路古城跡1 ⑥志路古城跡2 ⑦正明寺跡
- ⑧平藪神社 ⑨志路古城跡3 ⑩伝尼子屋敷跡 ⑪志路古城跡4 ⑫小野城跡 ⑬正雲寺 ⑭出崎山神社

●大永 23(1523)年、家督相続を認めた元就に吉田入りを促した毛利氏の主要家臣（黒字）と中郡衆（青字）の配置



日下津城跡(伝坂氏居城、北から。安芸高田市向原町坂)

毛利氏家臣八幡原氏ゆかりの史跡



正雲寺(伝八幡原氏菩提所)の石造物。

毛利家文書五九三より
 ……御家来之事、武具衣装八結
 構二見え申候、人々の嗜うすく
 候歟、大將を御立候方々さま
 八、忠否をわけられ、賞伐の二つ
 を御行候へたと存候、乍賞のか
 たを八厚く、伐のかたを八うすく
 可被仰付候か、君八船、臣八水
 二て候、水よく船をうかへ候事二
 て候、船候も水なく候へ八不相
 叶候歟……
 (天文十六年、すでに八十歳台の志
 道広良が、元就から毛利氏の当主と
 なったばかりの嫡男隆元の補佐を懇
 望されたことを受け、隆元に家臣に
 対する心得を述べた書状)

●志路・古屋地区年表

西暦	和暦	事項
1495	明応 4	毛利氏、志道に棟別銭を課す(これ以前、毛利氏一族の坂元良が来住し、志道氏を名乗る)。
1503	文亀 3	毛利弘元、志道広良と起請文を交わす。
1513	永正 10	毛利元就と志道広良、毛利興元への忠誠を誓う起請文を交わす。
1523	大永 3	志道広良、元就の毛利氏相続に寄与。
1525	太永 5	志道広良、宮崎八幡宮に神田を寄進。 志道広良、毛利元就の使者として陶興房と談合。
1532	天文 元	志道広良、毛利氏に利害関係の調停を要請した家臣団の連署起請文に加わる。
1534	天文 8	志道広良、子の坂元貞に志道内の地を譲る。
1538	天文 7	志道広良、諏訪明神の祭田を替地。
1547	天文 16	毛利元就、志道広良に隆元の補佐を依頼。
1550	天文 19	志道・八幡原氏、元就の上意に従うことなどを誓約した家臣団の連署起請文に加わる。
1553	天文 22	志道元保、宮崎八幡宮に神田を寄進。
1554	天文 23	毛利隆元、八幡原元直を三原要害在番とする。
1555	弘治 元	厳島の戦い。
1557	弘治 3	志道・八幡原氏、軍勢狼藉禁止令に従うことを誓約した毛利氏家臣団の連署起請文に加わる。

室町時代の様式を伝える貴重な建築



市重文 出崎山神社拜殿(江戸時代の再建時に一部中世の部材を再使用)。

真徳寺（伝内藤氏菩提所）

中郡衆・内藤氏と山陰の雄・尼子氏ゆかりの寺院

●長田地区の景観（南西から）



左から真徳寺、田屋城跡。

●長田地区周辺の戦国時代ゆかりの史跡



伝尼子三兄弟ゆかりの墓。



- ①真徳寺 ②伝尼子三兄弟ゆかりの墓・円明寺跡 ③茶臼山城跡 ④田屋城跡 ⑤養康寺跡 ⑥長田神社
- ⑦日下津城跡 ⑧伝尼子屋敷跡

●真徳寺 伝内藤河内守菩提所



真徳寺木造阿弥陀如来坐像（もと尼子三兄弟が監禁されていた円明寺の本尊と伝える）

- 永禄 9(1566)年、尼子氏の長田円明寺への足取り
7月 7日 毛利氏、内藤元泰に尼子氏受け入れを了承したことへの礼状を作る。
- 11月 18日 毛利輝元、内藤元泰に円明寺の整備を指示。
- 11月 21日 尼子氏、毛利氏に降伏。
- 11月 28日 尼子氏、富田月山城を出て杵築へ移る。
- 12月 14日 尼子氏、円明寺へ到着する。

●伝尼子屋敷跡（安佐北区志路）



尼子氏が志路地区へ移った後の居館跡と伝える地（北から）。

●田屋城跡 伝内藤氏居城



田屋城跡（西から）



田屋城跡略測図（「広島県中世城館遺跡総合調査報告書」第2集 広島県教育委員会より）



田屋城跡に見られる石積み。

●長田地区年表

西暦	和暦	事項
1497	明応 6	内藤泰廉、嫡子元康に長田郷地頭職を譲る。
1502	文亀 2	養康寺の遺物の朱塗盆に同年銘が残る。
1511	永正 8	内藤元廉、毛利氏に忠節を誓い、京関東御役の際役銭を納めることを約す。
1532	天文 元	内藤元廉、毛利氏に利害関係の調停を要請した家臣団の連署起請文に加わる。
1550	天文 19	内藤元種、元就の上意に従うことなどを誓約した家臣団の連署起請文に加わる。
1555	弘治 元	厳島の戦い。
1557	弘治 3	内藤才松、軍勢狼藉禁止令に従うことを誓約した毛利氏家臣団の連署起請文に加わる。
1560	永禄 3	内藤河内守、新宮大明神を勧請。
1566	永禄 9	内藤元泰、毛利氏に対する「陣立其他諸公役」免除と引き換えに尼子氏の受け入れを承諾。円明寺に収容し厳重に監禁する。
1588	天正 16	尼子義久、上洛を控えた毛利輝元に請われ秘蔵の刀を献上。
1589	天正 17	尼子氏、志道へ移動。

伝市川氏居館跡（順教寺）

毛利氏の重臣・市川経好の居館跡と伝える遺構

●伝市川氏居館跡の石垣



正面（東から）



側面（南から）

順教寺を武士の居館跡と伝える江戸時代の資料
「高田郡村々覚書」宝永2(1705)年
一、市川常吉殿屋敷跡知行五百石輝元公長門へ御越之時供之由寛文三より真宗順教寺地二仕居申候
「国郡志御用ニ付下調書出帳」19世紀第1四半期
…但し先城主の土居屋舗と申伝候今に大石の石垣杯残り有之候



順教寺に伝わる懸仏

●市川地区の戦国時代ゆかりの史跡



市川地区に残る石造物。



- ①伝市川氏居館跡（順教寺）
- ②星力城跡
- ③小田城跡
- ④小田迫八幡宮（現亀崎神社）

●星力城跡 伝井上氏・市川氏居城



星力城跡（西から）



星力城跡略測図（「広島県中世城館遺跡総合調査報告書」第1集 広島県教育委員会より）

譜録卷百四十より
先年てる弘山くち打いりのとき、つね好ことは留守候ところに、城之事その身きつかにて何ことなくかへられ候事、まことに比類なく候、こんとちやう梅けん申につき候てそんし候、しかくきつけす候つるゆへふさたのやうに候、なまぢやう梅けん申へく候、かしく
壬七月六日 てる元 御判
「いち川内
つほね 中給へ てる元」
（永禄十二年、大内輝弘の山口進攻に際し、九州に出陣中の夫市川経好に代わって防戦したその妻の功績を、天正五年になつて毛利輝元が賞した書状）

毛利氏家臣井上氏ゆかりの史跡



小田迫八幡宮（現亀崎神社）

市川村の土地事情と過去の領主との関係について記した江戸時代の資料

「国郡志御用ニ付下調書出帳」19世紀第1四半期一、当村の内隣村田畠入込居り候様子
古屋村飛郷馬場と申処御座候又小越村田畠数町入込居り候又井原村田も少々入込居申候、尤当村分も小越村井原村え入込居申候、此訳は往古村々に城主御座候節縁談に付敷銀料に取扱御座候様に俗説も御座候

吉川興経の隠居地・深川



伝吉川興経墓所（安佐北区深川）

安芸の武士の居館跡のもと伝える石垣の例



伝二宮氏館跡（北広島町川井）



県史跡今田氏城館跡（北広島町今田）

●市川地区年表

西暦	和暦	事項
1474	文明6	物部太郎惣右衛門、八幡神社に懸仏を寄進（現順教寺蔵）。
1495	明応4	毛利氏、市川に棟別銭を課す。
1538	天文7	井上元盛、八幡宮（現亀崎神社）を造立。
1549	天文18	吉川経好、毛利元就父子に吉川氏の当主となった元就の二男元春の奉戴を誓約する。
1550	天文19	毛利元就、家臣井上一族を滅ぼす。 毛利元就、深川に隠居中の吉川興経を討つ。
1551	天文20	毛利隆元、井上十郎左衛門に市川村内の地を与える。 吉川経好、毛利氏から市川村内の田・屋敷を与えられる。
1555	弘治元	厳島の戦い。
1557	弘治3	市川経好、周防国高嶺城に入る。
1569	永禄12	大内輝弘、市川経好妻らが籠る高嶺城の攻略に失敗。
1578	天正6	市川経好の子経教、毛利氏に背き討たれる。